

●配食サービス、レストラン運営

田原活性化対策本部
SHIJONAWATE CITY



食堂・配食チーム

イラストのような場所が欲しいと考えております

地域に、交流、憩いの場が欲しい！！

- 核家族化、少子高齢化が加速し、孤立しやすい状況です。
- 子育てママの場合、家族以外の誰とも話さない日も多く、ストレスが溜まりやすい状況です。
- お隣がどんな人かも知らなかつたり、不審者に間違われるから、困っている人を見ても声を掛けにくかつたりします。
- 昔あった地域のお寺や校庭の開放は無くなり、公民館や公園等のコミュニティスペースは、利用しにくい現状です。
- 心の拠り所や繋がりが持ちにくく、例えば昼間独居生活の場合、孤食や欠食が増え、健康にも良くありません。



コミュニティースペースがあれば...

- みんなと一緒に食べたり 過ごす事で、楽しみが増え、引きこもりから抜け出すことができます。
- 顔見知りが出来たり、同世代・異世代間交流が促進されます。
- 災害時、地域に顔見知りがいる事で助かる命もあるくらいです。



見学した槇塚台のレストラン



このようなコミュニティースペースを田原にも！

目指す場所の内容

- お食事やお茶が出来る
- キッズから高齢者までがくつろげ、楽しめるコミュニティスペースがある
- 1Fレストラン、2F子育て支援センターという、見学した榎塚台のようなところが田原にもほしい。
- 出来れば、誰でも来やすいアカカベなど、中心部にほしい。

その要素

- ① ちよつとゆっくり話せる場
- ② 仕事以外のつながりもできる場
- ③ 用事がなくても気軽に立ち寄れる、地域に開かれたみんなの居場所

～ 田原ほっこりサロン～

- 地域交流スペースを2月21日と3月1日に試行しました。
。
- 子育てサロン・カンガルーホップ、ボランティア団体『食器あるある市』ふれあいサロンなどの協力や、田原小学校校区の民生委員・児童委員の協力を頂きました。

～ たわら ほっこりサロン ～

田原が活性化したらいいな！と、市長のお声掛けにより、集まった『田原活性化対策本部』。

私たち食堂・配食チームは、地域交流の場があったらいいなと考えました。

ちょっとゆっくり出来る場所
ちょっと話せる場所
いつのまにか 誰かとお縁が繋がる場所

そんな、誰でも気軽に来れる、地域みんなの居場所を目指して。

今回1日だけですが、開催してみることにしました。

どんなとこかな、何してるのかな。是非ほっこりしに来て下さい。



日時：2月21日（木）11時半～15時（入退室自由）

場所：グリーンホール三階 会議室3

参加費：300円

コーヒーやお抹茶、キッズスペースがございます。（軽食持ち込み可）
当日、あるある食器市コーナー（持ち帰りのみ）もございます。



主催：田原活性化対策本部 委員 食堂・配食チーム
ご協力：ボランティア団体「食器あるある市」



第17回 食器あるある市

家で使っていない食器・いらぬ食器を持って来て下さい。
(使用していても可。)
また、気に入った食器があれば持って帰っていただく
食器の**リユース市**を開催します。

開催日 平成31年3月1日(金曜日)
(雨天中止)

時間 10時～12時

場所 アカカベ田原台店前広場

今回は子供服のリユースコーナーもあります。
(子供服の回収はありません)

机と椅子も用意しています。休憩して行って下さい

受け取れる食器
●陶器 ●ガラス食器 ●磁器

受け取れない食器
●欠けたもの・ひびの入ったもの・汚れがひどい物
●木製・金属製・プラスチック製品・土鍋

食器を包んできた新聞紙・包装紙・紙袋・段ボール等は、お持ち帰りください。

気に入った食器は、マイバッグでお持ち帰りください。

次回開催 平成31年6月7日(金)予定

主催 ボランティア団体「食器あるある市会」

お問い合わせ
西川 090-9619-9100
浜知 090-9112-0037

2/21 ほっこりサロン ①

写真手前はキッズスペース、ママと子どものホッと一息時間
奥はお茶スペース、地域の人同士、ご縁が繋がりました。



2/21 ほっこりサロン ②



- あるある食器さんとコラボ。幅広い年齢層の方々に興味を持って頂けました。

- 職員の塩見さんが、地域お子さんを抱っこ。子育てママの困っていることを、何気ない会話から聞き出してくれます！

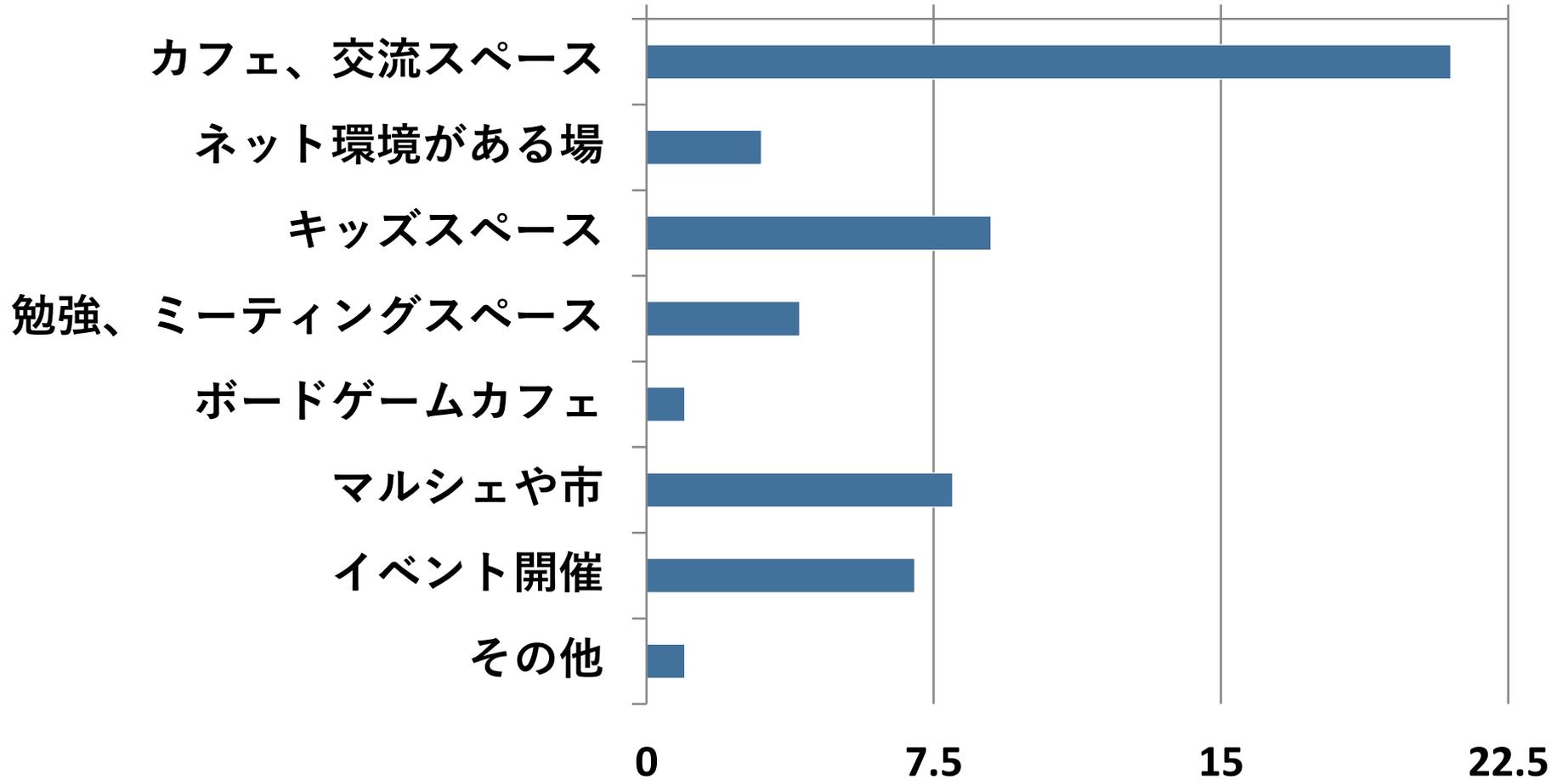
3/1 ほっこりサロン



手前がリユース服 右奥があるある食器市を開催している様子。

休憩スペースを設けて、ゆっくり会話を楽しんだり、アカカベで買ってきたものを食べたりされていました。温かいコーヒーを飲みながら、いろいろな方とお話ができ楽しかったと、感想を頂きました。買い物ついでに寄れるので、この様な場所で開催して欲しいとの声を頂いております！

Q. どんな場所が欲しいですか



ほっこりサロンの感想 よかった点

ママたち、じいじ・ばあば共に楽しくお話しされていてよかったです。

日頃話したことがない方と話げできた。

ママ友と沢山しゃべれた。

いろいろな人とゆっくり過ごせた。

コーヒーを豆から挽くこと、
全部準備されたものを提供しない視点がよかった。

久しぶりに小さい子の声が聞けた。



散歩をしますが、困るのはトイレと休憩場所。ほっこりサロンのような場所があれば、必ず立ち寄ると思います。

いただいた様々なご意見

★今日のように『あるある食器市』など、どんどん色々な団体と連携すればよいのでは。

★開催しているという案内をもっとされたらと思いました。告知やPRの方法が課題ですね。

★継続開催して下さい。

★音楽があればいいな。

開催してみたの私達の感想

準備期間が短かったことでもあります、今後はもっと早くお知らせできれば、より多くの方々に、楽しんで頂けるのではないかと思います。

定期開催することに加えて、必要に応じて出張交流スペースも効果的だと感じました。

又、アカカベ前での定期的開催希望の声も多数ありました。

交流スペース「ほっこりサロン」は持ち込みもできたので、アカカベなどで購入されたものを食べながら会話を楽しんだり、ちょっと一息休憩していられる方もいらっしやいました。

この様なこともありました！

最近、田原に引っ越しされてきた赤ちゃんとママが、お買い物ついでに、ふらっと立ち寄って下さいました。

地域の知人や情報が少なく、まだ、繋がりも持てずにおられたようです。

地域子育てサークルの情報をお伝えすることができました。

今後に向けて

- お手伝いをいただける方、こんな風にしたらいよいよという知識やアイデアをお持ちの方、技術や場所、活動運営資金のご提供をいただける方、どんな小さな力でも、ご協力下さるととてもありがたいです。
- 先ずは、月数回から、地域交流スペースを開催していきたくと思います。
- 皆さんに支えていただき、これが私たちの力を生む源となります。口コミなどの応援もよろしくお願い致します。
。

用もないのに行く、顔を出しておきたくなる
場所がコミュニティだと僕は思うんです。

津田大介

コミュニティが持続する条件は、人々が
目的や価値観を共有することではない。「な
んとなくみんな顔見知り」でかつ思いがけ
ず面白いことが起こること。それには、外
の人間を迎えること、各々が自分のこだわ
りを他の人に「翻訳」することを楽しいと
思える素地が不可欠だとジャーナリストは
言う。美術家・小山田徹との対談「集まり
は可能か？」（「ASSEMBLY」02号）から。

最後に一言。
新聞記事より抜粋

